


／ 知っていますか？ ／



／ はじめてみませんか？ ／

フードドライブの 手引き



こんな方に読んでほしい 

フードドライブを**実施したい**と考えている方

フードドライブに**興味がある**方

～目次～

1. はじめに	P1
2. フードドライブの流れ	P3
3. Q & A	P10
4. 県内の取組事例	P11
5. コラム	P12
6. おわりに	P12
参考資料	P13

令和5年3月
高知県

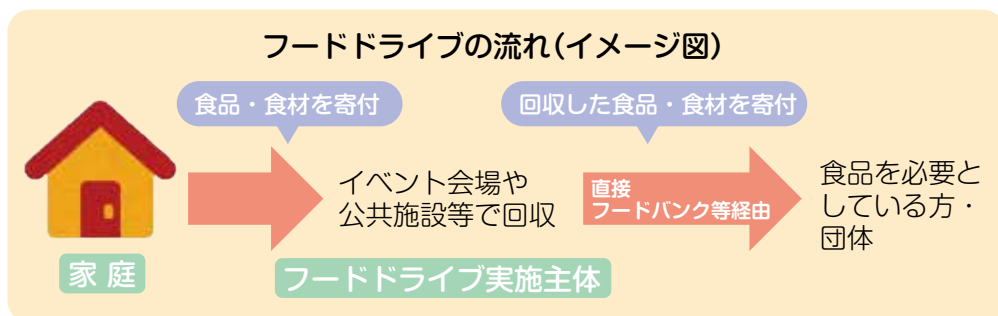
1.はじめに

このマニュアルは、家庭で余っている食品を有効活用できる「フードドライブ」の取組について、主体となって実施する際の手順や注意点などをまとめたものです。

また、フードドライブを実施したいと思っている方だけでなく、フードドライブに興味がある方にも読んでいただくことで、フードドライブが認知され、活動が広まることを期待しています。

フードドライブとは？

- 「フードドライブ」とは、家庭で使いきれない未利用の食品等を持ち寄り、必要としている団体(フードバンク等)に寄付する活動です。



- フードドライブは、食料の支援を必要とする人への支援や分け合う心の醸成が図られるなど、福祉の観点からも意義のある活動ですし、まだ食べられるにもかかわらず捨てられてしまう「食品ロス」を家庭から減らすためにも有効な方法です。

食品ロスとは？

- 「食品ロス」とは、**本来ならまだ食べられるにもかかわらず捨てられている食品**のことです。
- 例えば、買ったけれど食べきれなかった食品やお店で売れ残ってしまい捨てられてしまう食品など、製造・販売・消費など様々な過程で発生しています。

日本で発生している食品ロス量は、
年間 522 万トン

※農林水産省及び環境省による令和2年度推計値

毎日全ての国民が
おにぎり1個を
捨てていることと同じ

実施に当たっての注意

- 食品を提供する方、集める方、そして受け取る方みんなが安心できるように、気をつけていただきたいことがあります。

① マッチング (詳しくはP6)

⇒ フードドライブは家庭で余った食品が寄付されることが多いため、少量・多品種の傾向があります。フードドライブ実施主体自らが、支援先の施設や家庭のニーズに合わせた食品の提供を行う場合には、回収品と提供先のニーズをうまくマッチングさせる工夫が必要になります。

② 回収する食品 (詳しくはP6)

⇒ 提供可能な食品は、未開封で保存可能なものなど提供先によって決まりがあります。

- フードドライブを実施したい方
提供先としっかり事前に調整を行いましょう！
- 食品をフードドライブを通じて提供したい方
提供できる食品の条件などを必ず事前に確認しましょう！

フードドライブの心得

食品を集めて提供するその先には、
その食品を受け取る皆さんがいます。

受け取る相手のことを考えて、
互いにコミュニケーションを
取りながら活動・参加しましょう！

2. フードドライブの流れ

事前準備

①食品の集め方や実施場所を決める
.....P 4へ

②集める食品の提供先を調整する
.....P 5へ

③フードドライブへの協力を呼びかける
.....P 7へ

④食品を集める（実施当日）
.....P 8へ

⑤集めた食品を集計する
.....P 8へ

⑥提供先へ集めた食品を提供する
.....P 9へ

実施

実施後

①食品の集め方や実施場所を決める

- フードドライブは、自治体、地域住民、学校、職場などで様々な機会を捉えて取り組むことができる活動です。

◆集め方・実施場所

- イベントで集める
 - ・自治体がイベント的に窓口で
 - ・学校の文化祭で
 - ・イベントのブースで など



- 定期的に集める
 - ・自治体が役所の窓口で
 - ・会社が営業窓口で
 - ・スーパーのサービスカウンターで など



◆実施期間

- ・イベントの開催日のみ
- ・月に1回
- ・食品ロス削減月間である10月のうち2週間
- ・常設 など

無理をせず、自分たちにあつた期間を設定しましょう！



◆広報の方法

より多くの食品を集めるためには、事前にフードドライブの実施を広くお知らせすることが重要です。（P 7 ③参照）

◆必要な資料

P13に準備物リスト（参考）を掲載しています。



◆ 運営人員

受付方法やイベントの規模などにもよりますが、概ね3～4名程度のスタッフが必要になります。

係	内容
①受付係（1～2名）	・受付票の記入のお願い ・食品の受取り、期限などの確認
②記録係（1名）	・食品の種類、数量などの記録
③分類係（1名）	・食品の分類分け、整理
その他 （①～③と兼ねることもできます。）	・提供者の案内、運搬の補助 ・マスコミ対応 ・提供先団体との調整 など

point

「回収ボックスの無人化」など、食品受付と検品・集計のタイミングをずらして、フードドライブ実施主体における検品・集計の負担を軽減している事例もあります。（P11参照）

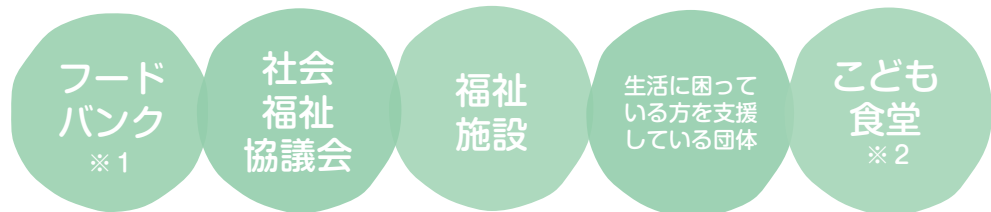
出典：環境省作成「フードドライブ実施の手引き」より

◆ 保管場所

引き渡しまで保管しなければならない場合は、食品衛生上の観点から、直射日光の当たる場所や高温多湿の場所を避けた、施錠できる場所を確保しておきましょう。（詳しくはP9⑥を参考にしてください。）

②集める食品の提供先を調整する

●食品の提供先として、下記のような団体があります。



など

※1：フードバンクが最終の提供先ではなく、一度フードバンクに提供し、そこから、食品を必要としている団体等にお渡しすることが一般的です。

※2：食材を調理した上で利用者に提供するところが多いため、少量しかない食材は受け入れが難しいことがあります。

◆ 集める食品の種類など

フードドライブでは、**提供先が必要としていない食品が集まらないように注意**する必要があります。

提供先に、受入れ可能な食品の条件や受入れ不可の食品があるかなどを確認すること、また、**食品衛生上の問題が生じないように**、提供先と調整して集める食品を決定します。

○ 回収する食品の例

- ・米・餅・菓子類・防災備蓄食品
- ・レトルト食品
- ・インスタント食品
- ・乾物
- ・調味料

など



必要としている食品や量などは団体によって異なります。うまくマッチングできるように事前によく確認しておきましょう！

（参考）食品だけでなく、ティッシュペーパーや生理用品など、衛生用品も一緒に集める場合もあるようです。

× 回収しない食品の例

- ・開封されたもの
- ・賞味期限が1か月を切っているもの
- ・生鮮食品・冷蔵食品・冷凍食品等温度管理が必要なもの
※団体によっては受入可能な場合もあるようです。
- ・食品表示（原材料名・賞味期限等）のないもの
※米や砂糖等一部を除く。
- ・商品説明が外国語のみのもの

など

◆ 仕分け・計量作業の確認

食品の種類や個数、重量等こういった記録が必要か、相手方に確認しておきましょう。

提供先によって
受入方法は異なります！

◆ 引き渡しの日時・方法

提供先との調整によりますが、基本的には、提供先が希望する場所まで、実施団体が運搬できるようにしましょう。運搬方法や費用負担など、事前にきちんと決めておきましょう。

◆ 食品の引き渡しにあたって書類のやり取り等の手続きの有無の確認

③ フードドライブへの協力を呼びかける

● 広報の方法

チラシ、ポスター、ホームページ、SNS、広報紙、テレビ、ラジオ、新聞などを活用し、

実施日時

回収場所

集める
食品の例

集めた食
材・食品の
提供先

などを周知しましょう。



point

- 条件が合わずに持ち帰りとなってしまうことを防ぐため、周知の際に、集める食品の条件をしっかりと伝えるようにしましょう。
- 集める食品の例を示したり、回収しない食品を明確にすることが大切です。

④ 食品を集める（実施当日）

- 持参された食品が回収条件を満たしているか確認し、受領します。

流れ（例）

① 受付係が、提供者から食品を受け取り、提供者に受付票の記入をお願いする。

② 集める食品の条件を満たしているか、食品を1つずつ確認する。
(受入条件に合わない食品があった場合は、提供者に返却する。)

③ 全ての食品のチェックが終われば、受付は終了。記録係に食品を渡す。

④ 記録係は、食品の種類、数量などを記録する。

⑤ 分類係に食品を渡し、分類係は分類毎に分けた箱に入れる。

※環境省作成「フードドライブ実施の手引き」を基に作成

⑤ 集めた食品を集計する

- 集まった食品を整理し、種類や数量などをリスト化して、食品を提供する際に提供先団体に渡します。

※受領後、破袋や開封済み、本来回収しない食品が混在していることがあります。
回収の対象外品の取扱いについても事前に検討しておきましょう。



⑥提供先へ集めた食品を提供する

- 集まった食品は事前に調整しておいた方法で、提供先へ引き渡します。
- 引き渡しまで保管しなければならない場合は、食品衛生上の観点から次の点に注意し、かつ施設できる場所に保管しましょう。★

直射日光の
当たらない
場所

高温多湿に
ならない
場所

雨等で
ぬれない
場所

動物や昆虫が
入らない
場所

- 事前に、食品の個数や重量を提供先に伝えておくといでしょう。

(参考) 食品事故への懸念と対応策

◎回収した食品を提供した際に、健康被害が発生した場合のリスクに対する懸念があります。

◎食品衛生上の観点から、上記★部分を守ることはもちろんのこと、例えば、フードドライブ実施団体で検品後、フードバンク団体等提供先でも検品し二重でチェックを行うことで、一定のリスク軽減が図られます。その他、例えば、フードバンク団体が、フードドライブ実施団体からの食品提供を安心して受けられるよう、万が一の食品事故に備えて、賠償責任保険に入るといった事例もあるようです。

環境省作成「フードドライブ実施の手引き」

様式例や実施上のポイントなどより詳しい情報が掲載されています。ぜひ参考にしてみてください。



check!

3.Q&A

- 環境省が作成した「フードドライブ実施の手引き」から、実施に当たっての課題とそれに対する取組例等を抜粋しました。(一部加工しています。)他にもたくさんの解決策が示されていますので、ぜひ参考にしてください。

Q はじめてのフードドライブで何がどのくらい集まるかわからない、集めた食品を配布しきれかわからない

A 提供先団体の要望も確認し、集める食品を限定したフードドライブを行うのも1つの方法です。例えば、生活困窮者の支援を目的としたフードドライブでは、集める食品を、調理が不要な食品(缶詰等)や調理の手間がかからないものとしてレトルト食品やカップ麺のみに限定する、ことが考えられます。

一方で、一度に想定以上に大量の食品を集めてしまうと、提供先で保管場所や配布に困る、もしくは消費しきれない、といった問題が発生することがあります。受入可能な食品の種類だけでなく、量についても事前に確認しておくと良いでしょう。

また、提供先に引渡せず余った場合の処分方法についても検討しておくと良いでしょう。

Q フードドライブ実施団体における検品・集計の負担が大きい

検品・集計の負担軽減への対応策として次のようなものがあります。

A ・「未開封」「賞味期限が明記されており、2カ月以上残っているもの」「常温保存できるもの」を受付できる食品の3か条とし、この3か条への該当の可否で、効率的に検品を行っている。
(食品寄贈申込書、受領食品リストは使わない)

・賞味期限が外国語表記のものは、瞬時に判断できないこともあることから、あらかじめ、回収できない食品としている。

・回収ボックスの設置による無人化や、常設窓口で併せて受取る等、食品受付の省人化を図り、食品受付と検品・集計の実施タイミングをずらすことで、フードドライブ全体の負担を軽減している。

4. 県内の取組事例

「もったいない」を「ありがとう」へ というキャッチフレーズに

- **実施主体**
特定非営利活動法人こうち食支援ネット
- **実施場所**
こうち勤労センター1Fフロア
- **実施期間**
常設（月曜～金曜8:00～18:00）
1日に3回、回収ボックスを確認
- **その他**
食品だけでなく、衛生用品（ティッシュペーパーやトイレトペーパー、生理用品など）も合わせて回収しています。また、乳幼児や高齢者用の食品（粉ミルクなど）の寄付も受け付けています。
- **集めた食品の提供先**
市町村社協、福祉事業団体、
子ども食堂、地域包括支援センター、
スクールソーシャルワーカー
- **気をつけている点**
提供食品のチェック
（未開封・賞味期限）



（写真提供：特定非営利活動法人こうち食支援ネット）



5. コラム 時間の寄付

- フードドライブに興味があり参加したいと思っても、「主体となって実施するのは難しい」、「提供する食品がない」といった方もおられるかと思います。
- そのような方でも、「フードドライブ」を支援できることがあります。
例えば、「特定非営利活動法人こうち食支援ネット」では、提供された食品（フードドライブ以外の提供食品も含む。）を受け取る方が安心できるように、一つ一つ賞味期限や破袋などのチェックを行うため、ボランティアを募集しています。

【倉庫の食品管理】

提供された食品を一つ一つ賞味期限や破袋などのチェックを行う。

<作業内容>

- 1 食品の点検
- 2 賞味期限のチェック
- 3 分類と棚入れ

詳しくは▶

特定非営利活動法人
こうち食支援ネット
ホームページ



（写真提供：特定非営利活動法人こうち食支援ネット）

6. おわりに

「フードドライブ」のことを、家族や知り合いの方などに伝えていただき、県内で「フードドライブ」がより身近なものになり、この活動が広まっていくことを期待しています。



準備物リスト(参考)

受付の机、イス

筆記用具

受付票

食品を入れる箱

(段ボール、折りたたみコンテナなど)

※余裕をもって少し多めに

はかり①…kg単位で計れるもの

はかり②…g単位で計れるもの

のぼり、案内看板

提供用段ボール (かご)

など

県内の主なフードバンク活動団体

団体名 (50音順)	住所	連絡先	HP等
社会福祉法人 高知県社会福祉協議会	〒780-8065 高知市朝倉戊 375-1	TEL:088-844-9019 FAX:088-844-3852	
特定非営利活動法人 こうち食支援ネット	〒780-0870 高知市本町四 丁目1-32	TEL:088-824-3583 FAX:088-875-4887	
フードバンク高知 (高知あいあいネット)	〒780-0052 高知市大川筋 二丁目3-29 ※令和5年4 月~令和5年 秋頃まで (高知市大川筋 二丁目9-5あ いあいビル)	TEL:088-875-4751 又は TEL:090-1005-1237	

※上記情報は、令和5年3月1日現在の情報です。
最新の情報は、各団体のHP等をご確認ください。



フードドライブの手引き（令和5年3月発行）

高知県文化生活スポーツ部県民生活課

〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号

TEL:088-823-9653 FAX:088-823-9879